



平成28年度のセンター所員です。1年間よろしくお願いいたします。近くにお越しの際には、お気軽にお立ち寄りください。



- ◇ 所長 城岸 毅
- ◇ 指導主事 杉下 悦子
- ◇ 主任 河島 宗信
- ◇ 助手 小又 時美
- ◇ スクールソーシャルワーカー 菊地 章子
- ◇ スクールソーシャルワーカー 吉田 美司子
- ◇ 特別支援コーディネーター 酒井 久美子

(後列) 酒井 吉田 小又 菊地
(前列) 河島 城岸 杉下

教育センターが行うサービス（一部）

拡大教材等の作成

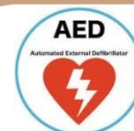
教科書や副読本、資料等の拡大印刷（A1・A2判）、4つ切色画用紙への直接印刷、垂れ幕・横断幕作成等ができます。（パワーポイントで作成したデータを共有サーバ上にご準備ください。）

教科書・図書資料の貸し出し

教育センターには教科書が揃っています。現在採用されているものはもちろん、それ以外の教科書も準備しています。また、特別支援教育や特別活動に関する図書、ソーシャルスキルトレーニング絵カード等の貸出も行っていきます。どうぞご利用ください。



教育センター



スクールバスの活用

校外学習の際に、スクールバスの使用が可能です。ただし、各学校の下校時間に支障がないよう14:30には帰校できるよう計画してください。また、出発の2週間前までは利用申請書の提出をお願いします。

視聴覚教材・備品等の貸し出し

砺波視聴覚協議会のDVDの貸し出しを行っています。別紙「視聴覚ライブラリー特集」を参考にご利用ください。タブレット（8台）、ビデオ一体型プロジェクター等の貸し出しも行っています。利用を希望される場合は、早めに電話で問合せをいただき、事前予約をお願いします。校外学習の際にはAEDもご活用ください。

おわりに ～たのもしい南砺市内6年生の姿から～

4月に東京オリンピックの公式エンブレムが発表されました。四つの候補の中でも、『日本らしさ』が感じられる最もシンプルな藍色の市松模様のデザインに決定しました。「多様性と調和」のメッセージを込め、同大会が国や文化・思想など違いを認め合い、つながる世界を目指す場であることを表しているそうです。

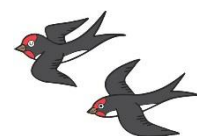
さて、先日、競技役員として南砺市連合運動会に参加させていただきました。7年連続で市内の6年生の子供たちの様子を見せてもらうことになりました。おそらく一人一人がそれぞれの目標をもち、また先生方からの指導や声援を受けながら練習を積み重ねてきたのでしょう。今年も、競技に取り組む姿はどの子も真剣そのものでした。今年特に感心したのは、子供たちのマナーや応援の様子です。各学校での事前の指導や各競技担当の先生方のその場での指導もあったとは思いますが、しっかりと返事やあいさつをし、約束を守って競技や応援を行う子供たちの姿にすがすがしいものを感じました。また、競技中や結果発表のときの子供たちの「応援コール」や声援が例年以上に響いており、学校毎の団結力を感じました。さらに、フィールド競技のテントの中で、他校の友達と笑顔で会話している姿も見られました。きびきびと係の仕事を行う子供たちの姿も素晴らしかったです。

蒸し暑い中での大会でしたが、団結しながらスポーツマンシップやマナーを大切にする子供たちからさわやかな風を送ってもらいました。さらに、オリンピックのエンブレムのメッセージ「多様性と調和」や「つながり」が感じられる連合運動会になっていたように思いました。

今年がオリンピックイヤーです。市内の子供たちもいろいろな競技や選手の様子を見て、目をキラキラさせながら応援することでしょう。（記 杉下）



教育センターだより



南砺市教育センター



「読書習慣再考」

南砺市教育センターに勤務して、2ヶ月が過ぎようとしています。これまで慌ただしく過ぎていった日々の中でも、4月19日に行われた全国学力学習状況調査の採点委員会に関わったことは、私にとって新たな認識をもつ体験となりました。

私は、国語科の採点担当だったので、まず自分でも解いてみようと思い、小・中学校両方の問題に挑戦しました。専門教科ということもあり、問題の文章自体はそれほど難解には感じませんでした。しかし、B問題の記述式の問題は、「問い」の意図を理解しながら資料を読み取り、答えをまとめないと正解とはならない問題が各設問ごとであり、ここにつまづく児童生徒が多いのではないかと思いました。

採点を終えて強く感じたのは、問題の文章と「問い」の文を、粘り強く繰り返し読み進める力が必要だということです。

ある面、それは忍耐力のように思えるのですが、日頃から活字を目にすることが好きな子供であれば、それほど大きな抵抗にならないだろうとも思いました。

改めて、読書によって身に付く力が、昨今求められる学力の基礎を担っているように見え、読書の重要性を感じました。

読書好きを増やすための方法として、読書を食生活に置き換えて考えることをお勧めします。はじめは、偏食で構わないのです。

南砺市教育センター 所長 城岸 毅

好きな分野の本だけを、どんどん読むことです。それが、読書好きになる近道だと思います。子供の頃は嫌いだったピーマンや山菜なども、いつの頃からかおいしいと感じられるように、読書が続けていけば、年とともに好みの分野が変わり広がってきます。また、読書は、散歩に似ています。気に入った場所で立ち止まり、しばし眼前の風景を楽しむのが散歩の醍醐味の一つであるように、読書も心惹かれたセンテンスで立ち止まり、自分の思いを巡らし、新しい考え方に触発されて人生観を広げる楽しみがあります。

今に生きる我々は、読書から情報を得ることより、インターネットやテレビなどからたやすく大量の情報を得ており、パソコンやスマートフォンに向かう時間が多くなっています。読書のように、立ち止まりながら考えながら過ごす時間をもつのではなく、惰性で機械につながれたように無為に時間を過ごす中では、思考力が育たないことは明らかです。古い言葉のようですが、「読書は心のビタミン剤」です。学力向上の特効薬にはならないかもしれませんが、漢方薬のような効果は十分期待できます。読書習慣を定着させることも学力向上につながる一方法ではないか、と確信した採点業務でした。



教育相談担当より



● 適応指導教室「いおう教室」

教室では、一人一人の個性や気持ちを大切に基礎的な学習や体験活動、製作的活動、面談等を行い、学校生活への適応を援助します。

【場 所】 福光青少年センター3階（南砺市福光1137-2）

【電 話】 52-5593

【開設時間】 9:00～15:00（月～金）

【指導員】 松村 朝美 先生 宮崎 節子 先生

2人の指導員が児童生徒の支援や保護者の相談に応じています。
お問合せは南砺市教育センターまでお願いします。



● 教育相談のつどい

専門の先生による、保護者対象の個別相談会です。毎回、開催前に案内プリントを学校に配布します。子育てでお困りの保護者の方にぜひお知らせください。

- 第1回 5月28日(土) 第2回 6月18日(土) 第3回 7月 9日(土) 第4回 9月17日(土)
第5回 10月15日(土) 第6回 11月26日(土) 第7回 1月28日(土) 第8回 2月25日(土)

【助言者】 富山大学保健管理センター 准教授 西村 優紀美 先生
臨床心理士・精神保健福祉士 大浦 暢子 先生

【開催場所】 1、3、5、7回 福野文化創造センター（ヘリオス） 2、4、6、8回 福光福祉会館

【時 間】 10:00～15:00（約1時間の個別相談です。定員は毎回4名までです。）

【申込み】 南砺市教育センター相談専用電話（82-8301）

● その他の相談会

「言語の発育に関する相談」や「にこにこ相談会」があります。詳しくは、4月に学校にお届けした「子育て相談のご案内」リーフレットをご覧ください。（申込みは、各相談担当の専用電話をお願いします。）ご質問等ございましたら、南砺市教育センターまでお問合せください。

スクールソーシャルワーカーは、学校現場をサポートします

こんなときに相談を！

- ・不登校
- ・いじめ
- ・保護者対応等のつなぎ役

子供や保護者の支援だけでなく、先生方の「困り感」を少なくするために、支援や関わり方について共に考え、行動します。専用電話で相談や質問にも応じています。

学校

子供
保護者

相談

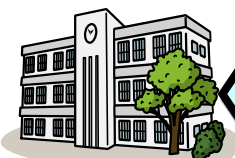
関係機関

訪問・支援
ケース会議

スクールソーシャルワーカー（SSW）

子供を取り巻く環境への働きかけを行います。専門の知識や技術をもち、教育や福祉の分野での実績があります。

連携
連絡・調整



研修担当より



1 以下の委員会を設け、調査研究を進めます。

体力づくり委員会	体力づくり対策・小中連携課題に対する取組推進、3年計画の報告書作成の2年目
社会科資料委員会(小学校)	小学校社会科資料「わたしたちの南砺市」「南砺市地区」の改訂作業
社会科資料委員会(中学校)	中学校学習資料「身近な地域の学習—地理編」改訂作業
デジタル教材作成委員会	デジタル教材「南砺の文化財」の編集(地区別並び替え、主な史跡の教材化等)
学習内容系統図作成委員会	小中学校における外国語活動・英語科の内容系統図作成

2 研修事業として以下のことを行います。

事業名	期日・時間	対象	内容
南砺市教育研究大会	8月29日(月) 13:45~16:30	悉皆	内容：学力向上のための授業改善に向けて 講師：関西福祉大学 学長 加藤 明 先生 会場：井波文化センター メモリアホール
学力向上研修会	6月30日(木) 13:30~16:30	教務主任又は 研究主任	内容：28年度全国学力・学習状況調査の検証と対策 講師：県学力向上推進チーム 主任研究主事 福原 達 先生 会場：井波庁舎3階 多目的ホール
教育セミナー (ICT活用研修)	7月26日(火) 13:30~16:30	希望者	内容：学力向上と日常的なICT活用(仮) 講師：放送大学 教授 中川 一史 先生 会場：いのくち椿館 
ふるさと学習研修会	8月8日(月) 13:30~16:30	市内小中学校 初任勤務者	内容：歴史文化施設めぐり【福野地区】 講師：南砺市観光協会 見学場所：学場所：安居寺、福野神明社、 巖浄閣、南砺市園芸植物園 等

3 砺波地区教育センター(砺波、小矢部、南砺)の協業事業として以下の研修があります。

特別支援教育研修会 7月29日(金)

『通常の学級における特別な支援を必要とする児童生徒の指導の在り方』

講師：富山大学
教授 小林 真 先生
会場：砺波体育センター

授業力向上研修会 8月10日(水)

『アクティブ・ラーニングで目指す学びの形と子供の姿』

講師：愛知教育大学
准教授 加納 誠司 先生
会場：小矢部市農村環境改善センター

資質能力向上研修会 8月23日(火)

『コミュニケーションの極意』

講師：(株)プラチナコンシュルジュ
高畑 勇 先生
会場：井波庁舎3階多目的ホール
対象：市内若手(4~10年次未満) 教職員及び希望者

詳しくは6月中旬に送付する研修要項をご覧ください。多くの方の自主的な参加をお待ちしています。

